

よつば保育園コラム 9月

こいん 誤飲

子供の運動発達の面で、手の届く範囲の物は何でも手に取り、口に入れて確かめます。なめたりしゃぶったりして、固さや形を確認しています。

こういった動作から誤飲・誤嚥事故が起きています。

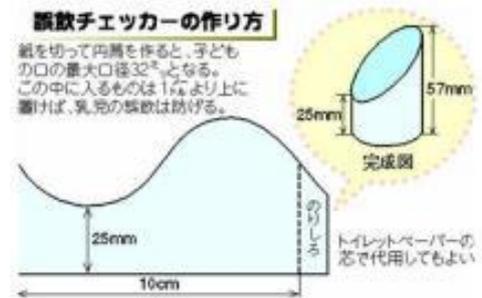
飲食物ではない物を飲み込んだ場合を誤飲、
飲み込んだ物が気道に入ってしまう場合を誤嚥といます。



誤飲しやすい物

◆直径 3.2 cm (500 円硬貨の直径：2.7 cm・トイレトペーパーの芯の直径：3.0 cm・親指と人差し指で輪を作り輪より小さい物)、長さ 5.7 cm 以内の物

- ◆たばこ、コインや電池、医薬品、化粧品
- ◆石鹸、防虫剤
- ◆おもちゃ (小さなおもちゃ、おもちゃの部品)



観察のポイント

- ◆まず落ちついて、何を飲んだか。周囲にある物から推測する事。
- ◆飲み込んだ後、意識や呼吸状態、嘔吐の有無等を観察。
- ◆判断に難しい時は、よだれが増えたり食事量が減っていないかを観察。

手当

※受診時や相談の際は、いつ・何を・どのくらい食べた (飲んだ) かを伝えて下さい。
又、飲んだ物や吐いた物の残りや入っていた容器・箱を持参し受診しましょう。

【吐かせて良い場合】

たばこを少しだけ (2 cm以下) かじった・クレヨン・石鹸・紙・ビニール・鉛筆の芯・インク・絵の具・墨汁・化粧水

- 慌てず口の中に残っている物があれば取り除き、口をすすいでうがいをします。(難しい場合は、濡れガーゼで拭き取る)
- 喉に詰まっているときは、頭を下にして背中を叩いて下さい。
- 吐かせ方：指を喉の奥に入れて、舌を押し下げる。

→ しばらく様子を見て、診療時間内に病院に受診しましょう。

【吐かせてはいけない場合】 → 窒息したり、食道を傷つけたり、肺炎を起こす可能性がある。

●絶対に吐かせてはいけない場合

- ・石油製品（灯油・マニキュア・除光液・液体殺虫剤等）
- ・酸性やアルカリ性の漂白剤、トイレ用洗剤等
- ・防虫剤の樟脳、なめくじ駆除剤等

●牛乳または水を飲ませた方がよい物：誤飲した物を薄めて粘膜への刺激を和らげる。飲ませる量は、多いと吐いてしまうので小児は 120ml、成人は 240ml を超えない量とする。

- ・酸性やアルカリ性の漂白剤、トイレ用洗剤等
- ・界面活性剤を含んだ洗濯用洗剤、台所用洗剤、シャンプー、石鹸等
- ・石灰乾燥剤、除湿剤等

●飲ませる事で症状を悪化させる恐れのある物

- ・石油製品
- ・たばこ（2 cm以上）、たばこの吸い殻：乳児は 1 本で致死量と言われている。
- ・防虫剤：水は大丈夫

このような場合はすぐに医療機関を受診！！

受診時や相談の際は、いつ・何を・どのくらい食べた（飲んだ）かを伝えて下さい。
又、飲んだ物や吐いた物の残りや入っていた容器・箱を持参し受診しましょう。



- 吐いた物に血液が混じっていた時
- 針のように尖った物を飲んだ時
- コイン、ピーナッツ類を飲んだ時
- ボタン電池：消化管壁の損傷（潰瘍を作ってしまう）

※意識がない・けいれん・窒息・顔色が悪い・ゼーゼーして苦しそうな時は救急車を呼んで下さい。

判断に迷ったり、応急処置が分からない時は、かかりつけ医や下記に相談しましょう。

- ・大阪中毒 110 番：072-727-2499（365 日、24 時間対応）
- ・つくば中毒 110 番：029-852-9999（365 日、9 時～21 時対応）
- ・たばこ専用電話：072-726-9922（365 日、24 時間テープによる情報提供）
- ・公益財団法人 日本中毒情報センター HP

予防法

- 子供の手の届く所に、危険な物を置かない。
- 子供の目線から危険な物がないか確認する。（床にうつ伏せになってみる）
- 子供が立って手を伸ばしても届かない所に置く。（1m 以上の高い所）
- 飲食物の容器に他の物を入れない。
- ジュース等の空き缶を灰皿代わりにしない。たばこを子供の前で吸わない。
- 子供の前で、薬を飲まない。薬を放置しない。

日頃から生活環境を整えることで、事故を防ぐ事が出来ます。

